

# 独自のふるさと旅行PR

塩 沢

地域限定で規制緩和を行う国の構造改革特区の第四次提案募集に、南魚塩沢町の民間団体が二十七日、「交流体験観光特区」を提案した。町内のグリーン・ツーリズムのコーディネーターらが人材バンクのような団体をつくり、旅行代理店業や人材派遣業を行えるよう規制緩和を求める内容。認められれば、来春にも同町は正式に特区申請する方針。

交流体験促進へ

## 民間団体 特区を提案 企画自由に

提案したのは、特産品開発・販売などを行って

同町では、主力のスキ

いる「企業組合しおざわ異業種研究会」(宮田俊之代表理事)。

現場では、主力のスキ

現行法では、農家の民

宮田代表理事は「緩和

宿が自ら行う農業体験サ

個々に体験メニューをそ

ービスを除き、有償の旅

ろえられないのが課題に

行企画や人材派遣には資

格が必要。規制緩和によ

って、農業、自然、織物

など多彩な体験メニュー

を組み合わせた旅行企画

を独自に販売・手配でき

るようになる。現在、コ

ーディーネーターは町内に

七人いるという。

明している。